

教科	公民	科目名	公共	単位数	2	開講対象 年次コース	2年次 必履修
使用教科書		高等学校 公共(第一学習社)					
副教材等		最新公共資料集(第一学習社)					
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

広い視野に立って、公共的な空間における人間についての理解を深めさせる。
公共的な空間の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自らの人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	公共的な空間の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身につけているか。
②思考・判断・表現	公共的な空間の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、様々な立場や考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現できるか。
③主体的に学習に取り組む態度	公共的な空間の基本的な問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度とよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度が身についたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	考査	単元テスト	ワークシート
①知識・技能	考査、単元テスト、ワークシート	○		◎	◎	○
②思考・判断・表現	考査、ワークシート、課題	○	○	○	○	◎
③主体的に学習に取り組む態度	授業に積極的に取り組むことができたか、ワークシート、課題への取り組み具合	◎	◎			○

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

基本的に予習は必要ありません。授業に集中して授業後の復習に重点をおいてください。授業理解のポイントは抽象的な概念を多く扱うので、身近な事例に置き換えて考えることです。また、わからない言葉はそのままにせず、インターネットなどを上手く活用して調べましょう。

授業では様々なニュースを取り上げます。普段から社会で起きている出来事に関心を持つことが心がけて下さい。また、公共の学習は、3年次に履修する「政治・経済」の基礎になります。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	第1編第1章 公共的な空間をつくる私たち	3 2	I 公共的な空間と人間とのかかわり II 社会に参画する自立した主体として
5	第2章 公共的な空間における人間と してのあり方生き方	3 3	I 人間としてのあり方生き方についての探究 II 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値観
6	第3章 公共的な空間における基本的 原理	3 3	I 自立した主体となることに向けて II よりよい公共的な空間づくりをめざして
7	第2編第1章 法的な主体となる私たち	3 3	主題1 方や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任
8		3 3	主題3 司法参加の意義 主題4 政治参加と公正な世論の形成
9	第2章 政治的な主体となる私たち	6	主題5 国際社会と国家主権
10		6	主題6 日本の安全保障と防衛
11		6	主題7 国際社会の変化と日本の役割
12	第3章 経済的な主体となる私たち	2 2 2	主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界
1		3 3	主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障
2		6	主題13 経済のグローバル化
3		5	ケーススタディ
		70	
備考			

教科	公民	科目名	倫理	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 選択
使用教科書		高等学校 倫理(第一学習社)					
副教材等		テオリア最新倫理資料集(第一学習社)					
備考(履修条件等)		2年次で「公共」を履修していること					

1 科目の学習到達目標

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身につけたか。
②思考・判断・表現	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索し、現代の倫理的諸課題を解決するために論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりできたか。
③主体的に学習に取り組む態度	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い思索を通して現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	考査	小テスト	ワークシート
①知識・技能	考査及び小テスト、ワークシート	○		◎	◎	◎
②思考・判断・表現	ワークシート、考査	○	○	○		◎
③主体的に学習に取り組む態度	授業に積極的に取り組むことができたか、課題への取り組み具合	◎	◎			○

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

「倫理」は、人が世の中で生きていくうえで出会ういろいろな問題について、広い視野で考え、さまざまな考え方の中から話し合ってものごとを決めていくための練習をしていく科目です。基本的に予習は必要ありませんが、2年次に学習した「公共」の学習が基礎になっています。

授業では多くの人物といろいろな考え方や用語が出てきます。抽象的な概念を多く扱うので、理解のポイントは現実の具体的事例に置き換えて考えることです。また、わからない言葉は、国語辞典などを上手く活用して調べましょう。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	オリエンテーション 人間の心と自己形成	1	オリエンテーション
	人間の存在や価値と宗教	3	青年期の課題と自己形成
5		4	ギリシアの思想
		4	ユダヤ教とキリスト教
6	人間のあり方と社会	1	イスラーム
		3	仏教
7		4	中国思想
		1	人間の尊厳
8		2	科学革命の時代と自然観
9	現代の人間と社会をとらえる 思想	5	自由で平等な社会の実現
		4	人間性の回復と主体性の確立
10	国際社会に生きる日本人と しての自覚	4	現代の思想と人間像
		1	生命への畏敬と社会参加
11	現代の諸課題と倫理	1	日本固有の思想
		4	外来思想の受容
12	演習	2	町人思想のめざめと庶民思想
		3	西洋思想との出会い
1		5	自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理
		5	社会と文化にかかわる諸課題と倫理
2		2	1年間のまとめ
3		1	
備考		60	

教科	公民	科目名	政治・経済	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次
使用教科書		詳述 政治・経済(実教出版)					
副教材等		政治・経済資料(東京法令出版)					
備考(履修条件等)		2年次で「公共」を履修していること					

1 科目の学習到達目標

人間尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会のしくみと人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
③主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	考査	単元テスト	ワークシート
①知識・技能	考査、単元テスト、ワークシート	○		◎	◎	○
②思考・判断・表現	考査、ワークシート、課題	○	○	○	○	◎
③主体的に学習に取り組む態度	授業に積極的に取り組むことができたか、ワークシート、課題への取り組み具合	◎	◎			○

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

基本的に予習は必要ありません。授業に集中して授業後の復習に重点をおいてください。
授業では様々なニュースを取り上げます。普段から社会で起きている出来事に関心を持つことを心がけて下さい。また、2年次に学習した「公共」の学習が基礎になっています。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	第1部 現代日本における 政治・経済上の諸課題 第1編 現代日本の政治	6	オリエンテーション 第1章 民主政治の基本原則
5		8	第2章 日本国憲法の基本的な生活
6		9	第3章 日本の政治機構 第4章 現代日本の政治
7	第2編 現代日本の経済	3	第1章 経済社会の変容
8		4	第2章 現代経済のしくみ
9		6	第3章 現代経済と福祉の向上
10	第3編 現代日本における 諸課題の探究 第2部 グローバル化する 国際社会の諸課題	8	第1章 現代の国際政治 第2章 現代の国際経済
11		9	第3章 国際社会の諸課題の探究
12		6	総合問題演習
1		1	まとめ
2			
3		60	
備考			

教科	公民	科目名	社会教養	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 文系 選択
使用教科書		ニュース検定 公式テキスト&問題集「時事力」基礎編					
副教材等							
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

人間尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会のしくみと人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	公共的な空間の基本的問題に関わる基本的事柄や、学び方を理解し、その知識を身につけている。公共的な空間の基本的問題の事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用して学び方を身につけている。
②思考・判断・表現	公共的な空間の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。
③主体的に学習に取り組む態度	公共的な空間について関心を持ち、その課題について意欲的に考えてようとしている。また、社会的事象をいろいろな支店で考察しようとしている。そして平和的で民主的なよりよい社会の実現をめざし、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度			
		授業	課題提出	小テスト	ワークシート
①知識・技能	小テスト、ワークシート	○		◎	◎
②思考・判断・表現	ワークシート	○	○		◎
③主体的に学習に取り組む態度	授業に積極的に取り組むことができたか、課題への取り組み具合	◎	◎		○

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

高校を卒業したら、みなさんは何をしますでしょうか？進学してあと数年学生を続ける人もいれば、すぐに就職する人もいます。いずれにしても、あなたたちはもうすぐ社会に出て行くことになりそうです。

そんなあなたたちに、最後の現代社会の知識をつけてもらう機会として設けたものがこの授業です。1つでも多く、知っておいた方がよいことをお伝えできるように考えて行きますので、あなたたちも一生懸命に参加してください。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	オリエンテーション 政治学の教養	1	オリエンテーション
		2	私たちの民主主義
		3	日本国憲法の行方
5		3	どうなる外交と防衛
		2	地方自治のいま
		3	まとめ・単元テスト
6	経済学の教養	2	「経済入門」まずはここから
		3	日本経済の行く先は
		3	混迷する世界経済
7		3	日本産業のいま
		3	転機エネルギー政策
8		3	まとめ・単元テスト
9	暮らしの教養	3	減り続ける日本の人口
		3	社会保障のこれから
10		3	働くということ
		3	新しい消費の形
		3	まとめ・単元テスト
11	社会・環境・国際学の教養	3	子どもと教育のいま
		2	共に生きるために
		3	司法と私たちの社会
12		2	発展する情報社会
		3	いのちと科学を考える
		3	日本と災害
1		3	地球環境を守るために
		3	米中と世界の国々・核兵器と向き合う世界
		2	平和な世界どうやって
2			
3			
		70	
備考			

教科	公民	科目名	政治・経済研究 (ゼミナール政治・経済・法)	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 選択
使用教科書		詳述 政治・経済(実教出版)					
副教材等		政治・経済資料(東京法令出版) ウィニングコンパス公共・政経の整理と演習(東京法令出版)					
備考(履修条件等)		2年次で「公共」を履修していること					

1 科目の学習到達目標

「公共」や「政治・経済」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、人間尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会のしくみと人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
③主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度			
		授業	課題提出	考査	単元テスト
①知識・技能	考査、単元テスト	○	○	◎	◎
②思考・判断・表現	授業中の課題、考査	○	○	◎	◎
③主体的に学習に取り組む態度	授業に積極的に取り組むことができたか、課題への取り組み具合	◎	◎		

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

2年次に学習した「公共」の学習が基礎になっています。授業に集中して授業後の復習に重点をおってください。3年次に学習する「政治・経済」の演習をメインとしますので、適宜復習をしながら知識を蓄え、考える力を身につけていきましょう。とにかく授業を大切にしてください。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	日本政治	6	民主政治の基本原理 日本国憲法の基本原理
5		8	日本の政治機構 現代政治の特質と課題
6	日本経済	9	経済の原理とその発展 現代経済のしくみ
7		3	日本経済の発展と課題
8		4	労働と社会保障
9	国際政治	6	現代の国際政治
10	国際経済	8	国民経済と国際経済
11	現代の諸課題 テーマ別倫理	9	現代の諸課題 テーマ別倫理
12		6	総合問題演習
1		1	まとめ
2			
3		60	
備考			